

印刷年月日：2021年05月24日  
初版年月日：1993年12月21日  
改版年月日：2016年02月17日

# 安全データシート

SDS No. 16722

## 1. 化学品及び会社情報

製品名： クリケミカル Fミニ

会社名： 栗田工業株式会社  
住所： 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパークイースト  
担当部門： 品質保証部

電話番号： 03-6743-5020  
FAX番号： 03-3319-2026

緊急連絡先： クリタ関西株式会社  
緊急連絡先電話番号： 06-4391-3431  
推奨用途及び使用上の制限： エアゾールタイプ アルミフィン用洗浄剤  
\* 通常のお問い合わせは、緊急連絡先へお願いします。

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	
エアゾール	区分2
金属腐食性物質	区分1
健康有害性	
皮膚腐食性 及び 皮膚刺激性	区分1 (A, B, Cを含む)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
呼吸器感受性	区分1
皮膚感受性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
可燃性・引火性エアゾール  
金属腐食のおそれ  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
吸入するとアレルギー、喘息、呼吸困難恐れ  
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ  
臓器の障害の恐れ  
長期又は反復暴露による臓器障害恐れ

注意書き  
安全対策

加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。  
裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。  
熱、火花、裸火、高温の物のような着火源から遠ざけること。一禁煙。  
他の容器に移し替えないこと。  
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。  
換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。  
汚染された作業着は作業場から出さないこと。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。  
物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。  
皮膚に付着した場合：汚染された衣類を全て脱ぎ取り除き、皮膚を流水等で洗うこと。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズが容易に外せる場合には外すこと。  
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。  
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。

保管

このラベルの指示に従った特別処置が緊急に必要である。  
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。  
ばく露した時または気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

廃棄

日光から遮断し、50℃を超える温度にばく露しないこと。  
耐腐食性、耐腐食性内張りのある容器に保管すること。  
確実に保管すること。紛失・盗難に気をつけること。  
都道府県の認可を受けた廃棄物処理業者に委託して廃棄すること。

## 3.組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別:	混合物		
化学名又は一般名	化学式	含有量(%)	
水酸化カリウム	KOH	1~5	
水酸化ナトリウム	NaOH	1~5	
グリコール系溶剤	非開示	非開示	
アニオン系界面活性剤	非開示	非開示	
2-アミノエタノール	C2H7NO	1~10	
ブタン	C4H10	1~10	
化学名又は一般名	化審法番号	CAS No.	安衛法番号
水酸化カリウム	1-369	1310-58-3	公表化学物質
水酸化ナトリウム	1-410	1310-73-2	公表化学物質
グリコール系溶剤	非開示	非開示	
アニオン系界面活性剤	非開示	非開示	
2-アミノエタノール	2-301	141-43-5	
ブタン	2-4	106-97-8	
危険有害不純物	分析結果	検出限界	分析方法
総水銀(Hg)	検出せず	0.01mg/kg Hg	還元気化原子吸光度法
ヒ素(As2O3)	検出せず	0.1mg/kg As2O3	DDTC-Ag吸光度法
鉛(Pb)	検出せず	0.05mg/kg Pb	原子吸光度法
シアン(CN)	検出せず	1.0mg/kg CN	ピリジンピラゾン吸光度法
総クロム(Cr)	検出せず	0.5mg/kg Cr	ジフェニカルバント吸光度法
カドミウム(Cd)	検出せず	0.01mg/kg Cd	原子吸光度法

## 4.応急措置

## ◆情報◆

吸入した場合	エアゾールを吸入すると有害である。 空気の新鮮な場所に移し、安静・保温につとめ、直ちに医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	強アルカリ性であり皮膚に付くと強い腐食作用がある。直ちに十分に洗浄し除去しないと皮膚がただれることがある。 触れた部位を、多量の水で洗い流す。 汚染した衣服は直ちに脱ぎ、衣服と皮膚に付着した薬品を、多量の水で洗い流す。 炎症、痛みなどが残れば、医師の手当を受ける。
眼に入った場合	眼に入ると、角膜及び水晶体を腐食し、視力低下や失明のおそれがある。 直ちに、流水で15分以上洗眼し、その後必ず医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	口・のど・胃を腐食し、嘔吐・腹痛・下痢などを起こす。 直ぐに医師の治療を受けて下さい。もし飲み込んだ場合は、医師の指示があるまで無理に嘔吐させない。

## 5.火災時の措置

消火方法	火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火剤は、水、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化物、アルコフォームが有効である。
消火剤 使ってはならない消火剤	
特有の危険有害性	可燃性ガス封入のスプレー缶なので、火気から遠ざけること。

## 6.漏出時の措置

漏出時の措置 除去方法	少量の漏洩の場合はウエスで拭き取り、水で洗い流す。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	

## 7.取扱い及び保管上の注意

【取扱い】	吸い込んだり、眼・皮膚に触れないように、保護マスク・保護眼鏡・長袖の作業衣・ゴム手袋等を着用して作業すること。
-------	---

注意事項	換気の良い場所で使用すること。 酸との混合を避けること。 エアゾールにLPGを充填しているので、使用済みの容器を火中に投げないこと。 ① コーティング処理された機器・塗装面に薬品が付着すると、コーティングの剥がれや変色を生じさせることがあるので使用しないで下さい。使用する場合は、当該機器メーカーに連絡し、アルカリ洗剤の適用が可能であることを確認の上実施して下さい。 ② 家具や植木などに薬品が付着すると、変色や枯れる原因になります。薬品がかからない場所に移動するか、カバー等で覆い保護した上で行って下さい。 ③ 本製品を小分けしないで下さい。液漏れや破裂、また誤飲や誤って薬品と接触する危険がありません。
技術的対策 安全取扱注意事項、接触回避	
【保管】	使用時以外は直射日光を避け、換気のある冷暗所に密閉保管する。 温度が40℃以上になるところに保管しないこと。 幼児の手の届かないところに保管すること。
安全な保管条件 安全な容器包装材料	

## 8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度 許容濃度	設定されていない 水酸化ナトリウム： 日本産業衛生学会(2009年)最大許容濃度 2mg/m <sup>3</sup> ACGIH (2009年) TLV-STEL 2mg/m <sup>3</sup>  水酸化カリウム： 日本産業衛生学会(2005年) TLV-TWA 2mg/m <sup>3</sup> ACGIH (2005年) CEILING 2mg/m <sup>3</sup>  2-アミノエタノール： 日本産業衛生学会(2005年) TLV-TWA 7.5mg/m <sup>3</sup> 3ppm ACGIH (2005年) TLV-TWA 3ppm  ノルマルブタン： 日本産業衛生学会(2005年) 500ppm ACGIH (2005年) TLV-TWA 800ppm  (注) TLV-STEL: 15分間内における平均値が越えてはならない値 (注) TLV-TWA: 1日8時間、1週間40時間の労働時間内の時間加重平均暴露許容濃度の勧告値 (注) CEILING: 瞬間的にでも越えてはならないピーク濃度 管理・許容濃度以上の作業環境では局所排気装置を設置する。
設備対策	
保護具 呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	保護マスク着用 ポリ塩化ビニール製あるいは合成ゴム製の手袋着用 保護眼鏡着用 長袖の作業衣着用

## 9.物理的及び化学的性質

色	淡黄色～黄色
形状	液体
臭い	
pH	13.0以上(20℃)
融点・凝固点	
沸点、初留点及び沸騰範囲	
引火点	エアゾール噴射液LPGあり
爆発範囲 上限 下限	爆発範囲上限： 爆発範囲下限：
蒸気圧	
比重	1.03～1.07
溶解度	水：水に任意に溶解する
n-オクタノール／水分配係数	
自然発火温度	
分解温度	
粘度	20mPa・s以下(25℃)
CODMn量	
BOD	
全窒素含有量(T-N) %	
全リン含有量(T-P) %	
その他データ	

## 10.安定性及び反応性

反応性  
 化学的安定性  
 特定条件下で生じる危険有害反応可能性  
 避けるべき条件  
 混触危険物質  
 危険有害な分解生成物

## 11.有害性情報

急性毒性	LD50:ラット(経口):5000mg/kg以上(成分からの推定値)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	強アルカリ性であり皮膚に付くと強い腐食作用がある。 pH:11.5以上であることから(GHS分類)区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	眼に入ると、角膜及び水晶体を腐食し、視力低下や失明のおそれがある。 pH:11.5以上であることから(GHS分類)区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	2-アミノエタノールの厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分1とした。
生殖細胞変異原性	
発がん性	
生殖毒性	
特定標的臓器毒性、単回ばく露	水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、2-アミノエタノールの厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分1→区分2(濃度限界10%未満)となる。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	2-アミノエタノールの厚生労働省の分類データにより(GHS分類)区分1→区分2(濃度限界10%未満)となる。
吸引性呼吸器有害性	
その他の有害性	

## 12.環境影響情報

生態毒性	LC50:ヒメダカ(24)時間:420mg/L、(48)時間:400mg/L
残留性・分解性	
生体蓄積性	
土壤中の移動性	
オゾン層への有害性	

## 13.廃棄上の注意

(残余廃棄物)の廃棄上の注意	本薬品を廃棄する場合は、必ず産業廃棄物処理業者に委託するものとし、地表への廃棄、埋立て、河川や下水道への放流はしないで下さい。
(汚染容器・包装)の廃棄上の注意	産業廃棄物処理認定業者に特別管理産業廃棄物(廃アルカリ)として委託し処理すること。 ガス及び内容物を抜いたのち、処分する。

## 14.輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報	国連分類:クラス2.1 国連番号:1950
容器等級	
海洋汚染物質	
海上輸送コード(IMDGコード)	
航空輸送コード	
その他	容器が破損しないようにし、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。 火気厳禁

## 15.適用法令

毒物及び劇物取締法	該当なし
化学兵器禁止法	該当なし
輸出貿易管理令	該当なし
労働安全衛生法	該当あり
水酸化カリウム	法 第57条の2 通知対象物
水酸化ナトリウム	法 第57条の2 通知対象物
2-アミノエタノール	法 第57条の2 通知対象物
ブタン	法 第57条の2 通知対象物
船舶安全法	該当あり
水酸化カリウム	危告示 別表第1 腐食性物質
水酸化ナトリウム	危告示 別表第1 腐食性物質
2-アミノエタノール	危告示 別表第1 腐食性物質
航空法	該当あり

水酸化カリウム 水酸化ナトリウム 2-アミノエタノール	爆告示 別表第1 腐食性物質 爆告示 別表第1 腐食性物質 爆告示 別表第1 腐食性物質
港則法 水酸化カリウム 水酸化ナトリウム 2-アミノエタノール	該当あり 港危告示 別表 腐食性物質 港危告示 別表 腐食性物質 港危告示 別表 腐食性物質
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 2-アミノエタノール 2-アミノエタノール	該当あり 令別表第1の該当する号の番号 20 第一種 指定化学物質
海洋汚染防止法 水酸化カリウム 水酸化ナトリウム 2-アミノエタノール	該当あり 法 第3条第3号 有害液体物質 Y類物質 法 第3条第3号 有害液体物質 Y類物質 法 第3条第3号 有害液体物質 Y類物質
水質汚濁防止法 水酸化カリウム 水酸化ナトリウム	該当あり 令第三条の三 指定物質 令第三条の三 指定物質
化審法 2-アミノエタノール	該当あり 法 第2条第5項 優先評価化学物質 通し番号 107
消防法 労働安全衛生法 廃棄物処理及び清掃に関する法律 その他	該当なし 規則 第326条 腐食性液体 該当あり 特別管理産業廃棄物(廃アルカリ) 該当あり PRTR法該当の2-アミノエタノール(CAS No.141-43-5)としての含有率は、1.5%である。

## 16.その他の情報

記載内容は、本シート作成時に入手可能な資料、情報、データに基づいておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証を成すものではありません。

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

本シートは、日本国内法規を基準に作成したものです。

以上